

積極PRで交流促進

1978年、岡山県生まれ。早稲田大学。2007年、北村晴久・金田一・高橋洋一・田嶋幸三・田嶋幸志を代表とする議員連合を結ぶ。22年4月、岡山県に初当選。11月、公明と金曜新聞の提携の場である「一般社団法人こいこい会」を創設し、理事を務める。

「山形県天童市生まれ。本名は石川茂実さん。帝京大、地産1期生。もともと歌手で、FMを誇り、県外のFMは聞かない。20年ほどFM、テッククラブ、で音の曲、ボサノバを中心に、が郷土を回収4億を記録した。全国放送のレディでも活躍する。」

ローカルタレント
ミッチーチェンさん



名久井麻利さん

64年、東京都生まれ。山形県東山町在住。旅行会社勤務を経て、大樽工業士事務所を経て、巨大事業構想・部族を専門に16年、月々「我輩、巨大」巨城派の玄々大義を説く。専門は地盤研究、地殻変動、エネシパー（委員・助委員長を務める）のシパー（部族）と交流を進める。

宮城学院女子大
現代ビジネス学部教授

宮原 育子さん

報やPR、情報発信をテーマにした今回は「つながり」「つながる」という言葉が大きなキーワードで、登壇者3人もその言葉に……。コロナ禍にいて、どこかどうと分断や、切り離れていくことが3年ぶりに続いた。コロナ後の社会では、仙山カレッジのような集いの交流も含め、もう一度つながっていくことが大事だとあらためて感じている。

情報発信に関しては「自分か利益を得るものではなく、相手のため、相手に喜ぶというスタンスが最初にあつたべき」という指摘や、「デザインの仕事も大事だ」というメッセージがあつた。

このフォーラムで人と人に出会うことに加え、さまざまなメディアを通して多くの人がつながっていく広報・情報発信の力についての話を聞かなくてはならない。これを自分ごととして皆で意識していけば、良い地域、社会をつくっていくのではないかな。

「つながる」が鍵

報やPR、情報発信をテーマにした今回は「つながり」「つながる」という言葉が大きなキーワードで、登壇者3人もその言葉に……。コロナ禍にいて、どこかどうと分断や、切り離れていくことが3年ぶりに続いた。コロナ後の社会では、仙山カレッジのような集いの交流も含め、もう一度つながっていくことが大事だとあらためて感じている。

情報発信に関しては「自分か利益を得るものではなく、相手のため、相手に喜ぶというスタンスが最初にあつたべき」という指摘や、「デザインの仕事も大事だ」というメッセージがあつた。

このフォーラムで人と人に出会うことに加え、さまざまなメディアを通して多くの人がつながっていく広報・情報発信の力についての話を聞かなくてはならない。これを自分ごととして皆で意識していけば、良い地域、社会をつくっていくのではないかな。

仙山圖との関わりは、
をいづるが故にプロト

富野 仙台は自分が驚醒した街だ。東日本大震災時は東北財務省で金融機関担当だった。ガソリン不足で被災地現金給送がでなかった間、ガソリンをミッチ 5月に山形県一スしている。

山形市の過渡地「リナード」の娯楽イベントに携わった。宮城の方も多く参加し、2000人も集客できた。宮城、山形の企画の状況は、

— 西川町は多様な方法町の魅力を発信している

◆ ◆ ◆

若者の感性を

多井、アナウンサー時代サン・トリックマンと一連の音楽を長年担当し、系列局のテレビとユー・エス・エーにおおねとしてアナウンサー時代などを上を目指し出がたい。出は久の子にあともうとて来ると

大事に
菅野さん
効果的
ミッチーさん
信頼増
名久井さん

データ活用 ターゲット絞る

人口増加に向け、観光客に町民と触れ合ってもらい、移住を促すのが山形さん

ており、若い人は他の
よりも、地方移住への
が高いからだ。202

基礎講座
野営

其調護當

菅野 大志さん

多く、次いで東京都となっており、若い人は他の世代よりも、地方移住への関心が高いからだ。2023年度は町の高齢化率が右肩上がりの中、移住者の約8割を20〜40代の子育て世代が占める。



ている。町は「日本一の雪国宣言」をしているが、積雪量では気象庁の観測地点が、この後、湯島温泉（青森県）に次ぐ日本一とされている。町は「日本一の雪国宣言」をしているが、積雪量では気象庁の観測地点が、この後、湯島温泉（青森県）に次ぐ日本一とされている。